



周術期管理チーム認定

周術期管理チーム認定制度とは、術前・術中・術後における基礎的な教育を受けたことを証明する
第一歩となる資格です

日本麻酔科学会は、周術期診療の質の向上を目指し、『周術期管理チーム』を提唱しており、教育活動を経て、周術期管理チームメンバーとして看護師、薬剤師、臨床工学技士を対象に認定制度を開始しました。

診療は医師の判断・指示のもとに、看護師が補助・処置を行うのが一般的です。医師の判断・指示に誤りがないかを看護師がチェックし、同時に指示通りに看護師が処置を行ったかを医師が確認することでダブルチェックが機能します。安全な術中管理のためには、麻酔科医の診療内容を十分に理解できる看護師の存在が必要です。一方で高齢化する手術患者の総合的なリスクを決めるために基礎疾患、既往歴、内服歴などについて、十分な評価が必須となります。周術期医療の質を高めるためには、術前外来の強化と、複数の十分に教育されたスタッフの活躍が必要です。

手術室看護師の
井上紗和子看護師が
この資格を
取得しました



多職種で、患者さんをいろいろな面から捉え、関わると良いと思っています

